

平成 28 年度 碧南市文化財展

新堀川の開削と窯業の発展



新堀川権江橋上流の水門工事（明治 43 年 1 2 月撮影）

『ふるさとの思い出写真集 明治・大正・昭和 碧南』 村瀬正章編より

日 時 平成 28 年 **11 月 5 日**（土）～**20 日**（日）

午前 9 時～午後 9 時

会 場 碧南市文化会館 1 階 展示室 1（月曜日休館）

主 催 碧南市教育委員会

主 管 碧南市文化財保護審議会

後 援 愛知県陶器瓦工業組合 三州瓦工業協同組合

全愛知県赤煉瓦工業協同組合 三河陶器協同組合

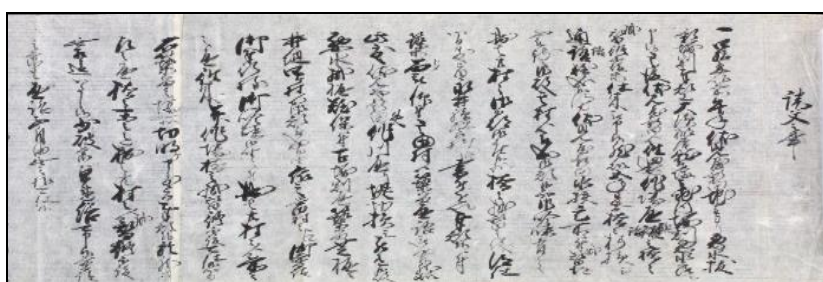
お問い合わせ 碧南市文化財課 TEL 48-6602

《 主な展示品 》

- ① 掛 軸 二代目伏見屋又兵衛像（貞照院所蔵）
- ② 絵 図 寛文2年（1662）幕府提出油ヶ渚悪水排水路絵図（碧南市所蔵）
- ③ 絵 図 元禄14年（1701）新堀川開削直前の大浜絵図（碧南市所蔵）
- ④ 絵 図 文久2年（1862）新堀川橋・水門絵図（碧南市所蔵）
- ⑤ 古文書 又兵衛と大浜村・棚尾村との約束証文（碧南市所蔵）
- ⑥ 古文書 池まわり8ヶ村と大浜村の和解を勧める証文（碧南市所蔵）
- ⑦ 写 真 明治中期以降の新堀川関係写真、窯業関係写真



「改築前の新川橋」（碧南市所蔵）
三河新川板倉寫真館発行
（撮影年月日不明）



「証文之事」（碧南市所蔵）

元文5年（1740）4月、池まわり村々は、新田地主が約束した「橋の架け替え」、「水門の修復」、「川ざらえ」等を引き継ぐことを条件に新堀川の閉鎖を解くよう大浜村へ「証文」を提出した。新堀川維持のため、池まわりの村々は水損高に応じた維持費負担、普請人足の手配等をする組合を結成した。この組合は「八ヶ村組合」と呼ばれた。

《 文化財展解説より 》

碧南市の北部地域は、その昔、碧海郡志貴庄の時代、まだまだ人家はまばらであった。やがて南部の大浜村、あるいは棚尾村の枝郷として人が移り住んだ。北大浜村、北棚尾村という時代もあった。伏見屋又兵衛による新川開削の苦労や、新堀川（新川）がこの地域の「繁栄の礎」であったことを、碧南市にある文化財から理解していただけたら幸いである。

本文化財展では、川の名を現在の呼び名である「新川」とせず、あえて「新堀川」で記載した。先人の古文書にも新堀川の名称で永く書かれてきた。この川は自然の川ではない。私たちの先人が汗にまみれ、時には水につかり堀りあげた川である。